

信州 なかののシンボル



NAKANO スナッパ



高野辰之忌

◀「花笠音頭」を披露する「らくのう座」の皆さん

高野辰之博士の多彩な業績を広く伝え、その功績をたたえるため「高野辰之忌」を2月16日、高野辰之記念館において開催しました。当日は、生家の高野良之さんのあいさつの後、関係者らが博士の遺影に献花などを行いました。引き続き行われた記念公演では、「らくのう座」の皆さんが笛や太鼓、三味線などで「お囃子」「八木節」などを楽しくにぎやかに演奏しました。最後は全員で「故郷」を合唱し、博士をしのびました。



差別をなくす講演会

◀「障がい」は一人一人の個性と語る柿島さん

2月26日、中央公民館において、中野市あらゆる差別をなくす推進協議会と中野市企業人権教育推進協議会の主催による「差別をなくす講演会」が開催されました。

当日は、長野市で柿の木農場を経営されている柿島滋さんを講師に迎え「個性豊かな人たちと共に働く～柿の木農場で働く仲間たち～」と題し、講演をいただきました。障がい者を雇用する取り組みを通して、差別や人権の尊さについて考える良い機会となりました。



農村女性フォーラム

◀家族経営協定について意見交換しました

2月21日、中央公民館において、市と中野市農村女性活動推進委員会の主催による「平成24年度中野市農村女性フォーラム」が開催されました。このフォーラムは、「中野市農村女性夢プラン」の基本方針「学びあい 話しあい 私も一歩」をテーマに開催したもので、当日は、長野県農村文化協会の池田玲子さんによる講演のほか、農業関係者らによるパネルディスカッションが行われました。

B&G財団会長杯中野市綱引き大会 ▶声援を受けながら力いっぱい綱を引く参加者

2月10日、B & G海洋センターにおいて、第8回B & G財団会長杯中野市綱引き大会を開催しました。

本大会は、健康増進・体力づくりを図るとともに、海洋センターの利用促進と綱引き競技の普及を目的としたもので、当日は一般男子の部10チーム、一般女子の部5チーム、子どもの部13チーム、計226人が参加し熱戦が繰り広げられました。参加した皆さんは、綱引きを通して仲間との団結を深めていました。



食農フォーラム

▶「地産外商でなく地産地消が大切」と語る玉村さん

2月11日、「地産地消の推進と食と健康について考える」をテーマに、アップルシティーなかのにおいて、食農フォーラムを開催しました。当日は、エッセイストの玉村豊男さんが「おいしい信州ふード(風土)大使が語る中野市の食の魅力～地産地消ノススメ～」と題して講演し、続いてアップルシティーなかのシェフによる料理実演を行いました。料理終了後、地産地消の料理と我が家の料理コンクール入選作品を参加者全員で試食しました。



中野市農業経営技術奨励賞表彰式

▶表彰を受ける農業者、団体代表の皆さん

2月12日、アップルシティーなかのにおいて、中野市農業経営技術奨励賞表彰式を開催しました。

この賞は本市の農業振興を図るため、農業経営が特に優れた地域農業の模範になった方、また、農業振興のために特に奨励に値する研究などを行った方を表彰するもので、有限会社えんとく培養センター（代表・荻原勉さん）、市川大輔さん、株式会社ハーツ（代表・越裕之さん）が受賞しました。



表紙の説明

生涯学習市民のつどい

2月17日、市民会館ホールにおいて「平成24年度生涯学習市民のつどい」および「ボランティア・地域活動の輪を広げるつどい」を開催しました。第1部では、バラボランティアの皆さんとレインボーズ中野の皆さんが活動発表を行い、第2部では、書家の金澤翔子さんによる書の揮毫と、母親で書家の金澤泰子さんによる「ダウン症の子と共に生きて」と題した、記念講演が行われました。（写真：金澤翔子さん揮毫の書）

